

第49回 水道週間

「水道がうるおす日々の健やかさ」



七条大滝

今年も「水道がうるおす日々の健やかさ」をスローガンに6月1日から7日まで、第49回水道週間が全国一斉に開催されました。

苫小牧市でも「水道施設見学会」や「キラリ・水コンサート」などの行事を行い、水に親しむ、水を考える機会を設けました。

水道施設見学会は6月3日(日)に、市民63人の参加により、北大研究林内のハイキング、北大研究林資料館、幌内・勇振取水場、幌内ポンプ場や高丘浄水場の見学を行った後に、七条大滝を訪れました。また、6月2日(土)には、市民会館の大ホールで苫小牧管工事業協同組合と共催で、「キ

・七条大滝を初めて知り、びっくりしました。最高の景色ですネ。こんな良いところがあるとは・・・
 ・やっと歩いて行った感じの滝でしたがとても素晴らしく帰りは楽でした。
 (参加者の声)



キラリ・水コンサート (市民会館)

ラリ・水コンサート」を開催しました。小学生、高校生のみなさんの吹奏楽演奏や市内の合唱団などのみなさんと楽しいひと時を過ごしました。

「苫小牧の水」をつくりました

6月24日(日)に、苫小牧市字静川で、天皇、皇后両陛下の御臨席の下、「第58回全国植樹祭」が開催されました。

「明日へ 未来へ 北の大地の森づくり」をテーマに全国各地から一万人の方々が参加しました。

上下水道部では、水道水のおいしい都市として選ばれた苫小牧市の水道水を、ペットボトルとしてつくり、参加した全国の方々に飲んでもらいました。

又、新潟県の中越沖地震の被災地柏崎市に対し約二千本を支援物資として送りました。

さらに苫小牧市外からの来訪者においしい水をPRすべく、夏の交通安全運動フェリー水際作戦や札幌市で開催された胆振物産展のイベントなどでも、おいしい苫小牧の水を味わってもらいました。



フェリーターミナルの水際作戦

「ボトルウォーター」

最近「〇〇の水」といってペットボトル詰めの飲料水が全国的におおはやりですが、一般に市販されているこの種の飲料水は、総称して「ボトルウォーター」とよばれます。

これら容器入り飲料水は、大きく次の3種類に分類されます。それぞれの違いは、原水はいずれも地下水などですが、飲み水として市販する場合の処理方法が違います。

- 「ナチュラルウォーター」…ろ過・沈殿・加熱だけの処理
- 「ミネラルウォーター」…ろ過・沈殿・加熱処理のほかに、複数の原水の混合、ミネラル分の調整を行ったもの。
- 「ボトルドウォーター」…ろ過・沈殿・加熱のほかに原水の本来成分を大きく変化させる処理を行ったもので、原水が地下水以外の場合はすべてこのボトルドウォーターになります。

※ 今回つくった「苫小牧の水」は、苫小牧の水道水から、塩素分を取り除いてつくられたものですから分類としては、「ボトルドウォーター」になります。